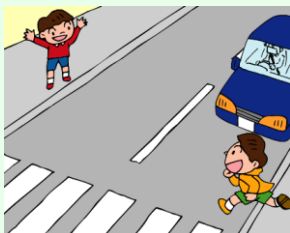


# 子どもの特性を踏まえた指導をお願いします

## 特性① ひとつの事に 夢中になる

「飛び出し」がいけないことは理解していても、道路の向こうに友達や家族がいると、周りの状況には目もくれず、つい飛び出してしまいます。



道路を渡るときは、  
横断歩道を渡る  
信号を守る

手をあげて安全確認をする  
等、安全な行動が身につくように、  
繰り返し教えましょう。

## 特性② 単純思考 抽象的な言葉では伝わらない

「手をあげる」「左右をみる」だけでは、子どもは理由まで理解できず、手の位置が低かったり、ただ漫然と首を振るだけになってしまいます。

### 「いつもの道路」もチェックをしてみましょう!

- 子どもの目線で危険をチェック!
- 危険回避方法を具体的に指導
- 覚えるまで、何度も繰り返す



「車の運転手に見えるように手をあげる」  
「右や左から車が来ないか見る」  
などと具体的に教えましょう。

## 特性③ 大人に依存

子どもは、良いことも悪いことも大人のマネをします。

また、「大人がいれば安心」と判断し、安全確認などを大人任せにしてしまいがちです。



子どもと一緒に安全確認を行うことはもちろんですが、周囲の大人が、日ごろから交通ルールをしっかりと守り、  
子どもの手本になりましょう。

## 特性④ 視界が狭い

子どもの視界は、大人の3分2程度といわれています。

安全確認をさせるときは、顔をしっかりと振らせましょう。

垂直方向の視野      水平方向の視野

